

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成18年11月16日(2006.11.16)

【公表番号】特表2006-501521(P2006-501521A)

【公表日】平成18年1月12日(2006.1.12)

【年通号数】公開・登録公報2006-002

【出願番号】特願2004-541799(P2004-541799)

【国際特許分類】

G 03 F 7/028 (2006.01)

G 02 B 1/04 (2006.01)

G 03 F 7/004 (2006.01)

【F I】

G 03 F 7/028

G 02 B 1/04

G 03 F 7/004 5 0 1

G 03 F 7/004 5 0 3 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月25日(2006.9.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) 少なくとも1つの有機反応性種と、

(b) 多光子光開始剤系と、

(c) 複数の実質的無機粒子と、

を含む多光子反応性組成物であって、前記粒子が直径約10ミクロン未満の平均粒度を有し、前記多光子反応性組成物は、多光子反応性放射線が多光子反応性組成物中に反応を誘起し、かつ該誘起される反応は多光子反応放射線が露光されない多光子反応性組成物と異なる溶解度特性を有する物質を生成するようなものである、多光子反応性組成物。

【請求項2】

前記粒子が表面処理された、請求項1に記載の多光子反応性組成物。

【請求項3】

前記光開始剤系が多光子光増感剤および電子受容体を含む、請求項1に記載の多光子反応性組成物。

【請求項4】

(d) 少なくとも部分的に反応した有機種と、

(b) 多光子光開始剤系と、

(c) 複数の実質的無機粒子と、を含み、

前記粒子が直径約10ミクロン未満の平均粒度を有し、前記粒子が約65容積%まで前記組成物中に存在する、物品。

【請求項5】

(a) (1) 反応性有機種と、

(2) 多光子光開始剤系と、

(3) 複数の実質的無機粒子と、

を含む多光子反応性組成物であって、前記粒子が直径約10ミクロン未満の平均粒度を有

し、前記多光子反応性組成物は、多光子反応性放射線が多光子反応性組成物中に反応を誘起し、かつ該誘起される反応は多光子反応放射線が露光されない多光子反応性組成物と異なる溶解度特性を有する物質を生成するようなものである多光子反応性組成物を提供する工程と、

(b) 前記多光子反応性組成物を、前記組成物を少なくとも部分的に反応させるのに十分な光で照射する工程と、

(c) 前記多光子反応性組成物の可溶性部分を、得られた複合物から除去する工程と、を含む、有機-無機複合物の製造方法。